

第6期四国中央市自立支援協議会 第2回会議 議事録

開催日時	2018年7月17日(火) 19:00 ~ 21:00				
開催場所	福祉会館3階会議室1	司会	越智	記録	田邊
参加者 (敬称略)	井原佳代・藤枝俊之・石川正文・脇研二・佐藤伸子・近藤秀光・宮崎憲士 高塚政生・大西未佳・上村由紀・藤原夕紀・鈴木秀明・曾我部綾・河野陽子 岩村由香里 以上委員15名 加地宣幸(福祉部長)				
事務局	越智寛・大西賢治・田邊真二・鈴木幹規				

協議内容

1.開会

2.会長挨拶

日々色々なことがあるが、一人では解決できないことも多い。みなさんの知恵を結集し課題に立ち向かい、四国中央市障がい福祉を推進していきたい。

3.配布資料確認

4.議事

【報告事項】

(1) 専門部会活動計画

①運営方針と各専門部会構成の確認

5月に開催した第1回会議で、協議会内に常時設置部会を3部会、特別設置部会を1部会、連絡会1会議で運営を目指すこととした。6月中にそれぞれの部会等で部会員を構成し、専門部会を開催し運営方針等を検討した。その内容を、各部会長等が報告する。

②拠点整備部会

原則月1回部会開催。第6期期間内に具体的な地域生活支援拠点の在り方を確定させることを目標。平成30年度内は、本市資源の把握と整理、他市等の状況を調査分析。それを踏まえ来年度に具体案を協議会に示したい。また、前権利擁護部会の事業を引き継ぎ、障がい者の権利擁護のための理解促進事業や成年後見制度事業充実を図る。

③資源開発部会

部会開催は原則月1回。当事者や家族の障がい福祉サービスに係るニーズ調査実施。これまでも、2017年度に市で、2018年度に県がアンケート調査を実施済。その内容を再分析するとともに、不足しているサービスや法改正による新たなサービス等へのニーズ調査・分析等を実施し、その充足を目指す方策を研究討議したい。そのためにも、すべての部会と連携し支える運営を目指したい。

④地域共生部会

今回の集中豪雨による災害により、当市においても当事者が不安な気持ちになっており、支援者もその対応が求められている。地域共生部会でも検討していきたい。部会開催は月1回。「地域で生きる(暮らす)を支援する」を目標に掲げた。障がい者の地域移行・地域定着が推

## 第6期四国中央市自立支援協議会 第2回会議 議事録

進できる活動を実施するため、実態把握、関係機関連携、住民理解促進を進めていきたい。加えて、研修会では、先に報告したとおり、災害における支援体制等を検討し、防災・減災、自助・共助の体制充実を図っていきたい。

### ⑤相談支援専門員連絡会

月1回の開催。相談支援専門員はこの連絡会に加え、専門部会等へも積極的に参加。その協議内容等を連絡会にて報告することで情報共有・連携強化を目指す。第5期の専門部会「くらし支援部会」が作成した「市内事業所マップ」を引き継ぐ。災害時支援のための「避難支援プラン個別計画」策定が少し遅れている、このような時期でもあり、早急な充実を目指す。

### ☆質疑応答・意見交換

意見：全ての部会等において共通することだが長期的なビジョンが見えない。それがわかるような計画策定を目指してほしい。今回の南予等の災害でこれまで他人事のように思われたものを「我がごと」だと市民全体が意識したのではないか。今こそ安心・安全のまちづくりを具体的に推進していくことが必要。

### (2) 第4回四国中央市福祉サービス事業所説明会

本年度第4回を迎える。運営方法等は原則これまでどおりだが、サービス事業所利用者から体験談をお話し頂き、参加者への関心を深めてもらうこととした。

### ☆質疑応答・意見交換 特になし

### (3) 四国中央市障がい者就職準備フェア 2018

本事業は、今年度常任委員会を基本に運営することとした。これまで2回ほど打ち合わせを行い、最終的な資料を作成している段階。昨年度までピアサポートコーナーを設置し、当事者の体験などを聞いていたが、今年度は、企業と一緒に参加し仕事として参加できるようになっている。また、会場はこれまで通り土居文化会館だが、ホールも利用し全館で実施することとした。協力者も昨年度より多く充実した事業を目指す。

### ☆質疑応答・意見交換

質疑：本事業の参加対象者は障がいがある方に限られているのか。即ち診断がついている人に限られているのか

回答：そうではない。

質疑：そうであれば、診断がついていない方への対応ができる体制づくりも必要では。

意見：この事業は幅広い周知は行うが、障がい者の対応であり診断ありきだと思われる。しかし、今後の事業の在り方によって検討してもいいのかもしれない。

意見：今後の検討課題で構わないので協議してほしい。

### (4) 特別設置部会活動計画

第1回会議6月に太陽の家で開催。会議前に太陽の家を見たことがない方に施設見学実施。会議は3週間に1回程度開催。できるだけ早く結論を出したい。本会の期間が明確ではないが、

## 第6期四国中央市自立支援協議会 第2回会議 議事録

スピード感をもって実施したい。整理するものとして4つ。早急に実施するもの、まちなかで暮らすための課題解決、現況施設再利用、四国中央市に期待される支援施設等の検討。詳しくはあり方検討委員会検討結果報告書により説明する。

(四国中央市障害者支援施設あり方検討委員会結果報告書の説明)

来年度予算で実施するために短期的に結論を出さなければいけないものもある。中期的には施設対応年数を鑑み8年以内と考える。重要な課題なので、報告書をよく読みこんでいただいて、委員のみなさんから意見を頂き、提言書に反映させていきたい。

### ☆質疑応答・意見交換

質疑：現況の「太陽の家」は土砂災害計画区域とあるが、それでも跡地利用を検討するのか。

回答：あり方検討委員会でも同じような意見が出た。今回の南予の被災においても着眼点は、そこが「生活の場」であるか否かだと思われる。そこで、「日中活動」や「研修の場」として再利用の可能性模索する方向性が出ている。このことも踏まえ、特別設置部会で検討してもらおう。

要望：将来の支援者不足も課題であることを視野に入れておいてほしい。また、新たな施設整備には、防災の観点は外さないでほしい。

回答：支援者不足の懸念はごもつともだが、それを具体的に読み込むことは困難。

要望：それは理解できるが、取り組めるよう提言書に盛り込む必要があるのでは。

回答：部会でも検討し、委員のみなさんの意見を聞いて、その視点を盛り込めるよう努力していきたい。

### 5.その他

(1) 四国中央市ボランティア市民活動支援センター主催のケニア・ストリートチルドレンを支援するイベントが8月27日にあるので参加できる方は参加を。

(2) 災害復興支援について、県自立支援協議会相談支援部会が急遽7月19日開催される。現況把握と今後の支援について情報交換があり、四国中央市として何ができるか、また、今後の四国中央市の災害時における支援体制の参考としていけるようにしたい。

### ☆質疑応答

質疑：民間ボランティアの今回の災害に対する体制整備は社協だと思うがその現況を教えてください。

回答：明日(18日)から災害ボランティアの受け入れをはじめ、現地へ赴く準備をしている。

提言：今回の災害における現場のニーズのミスマッチが気になる。社協の動き方が今後の重要課題だと思う。

### 6.閉会

以上